# 令和6年度感染症对応力向上事業 訪問支援

施設名:呉医療センター

施設名:老人保健施設りは・くにくさ 看護師 氏名: 沖本 千秋 ICN 氏名: 新開 美香

施設の写真

# 定員80名の従来型老人保健施設です。在宅復帰から看

# 取り期まで、ご利用者のご意向に沿ったケアを多職種で 取り組んでいます。特に食事では、真空低温食や凍結含 浸食を導入し安心・安全、楽しみのある食事に努め、心 豊かに過ごして頂ける様ご支援しています。

#### 感染症対応力向上事業 参加の動機

感染対策に対して施設内外の研修会に参加するも具体的な行動はまでにはつながらず日々が常在化していて た。施設を直接ラウンドして頂く事で、自分達も気づいていない事を認識し見直すきっかけになるのではない か。また感染管理認定看護師さんへ多職種それぞれが直接話を伺う事で日々の感染対策の気づきを頂き、改善行 動につなげられればと思い事業への参加をお願いしました。

_					
<b>+</b> *	実施日	1回目	令和6年10月11日(金)	13:30~15:00	
天加		2回目	令和6年12月13日(金)	13:30~14:30	

# ラウンドから見えた課題

- ・排泄介助に手持ちの布製バック等を使用していたり、エプロンをつけ物品準備を行っていたり、個人防護具の着脱が タイミング良く行えていない。
- ・排泄物品や注入道具等、消毒へ十分に浸漬されていない。
- ・嘔吐処理セットはあるが、量や点検も曖昧で誰でも迷わず使う事ができる状態ではない。
- ・口腔ケア物品や水回りが汚染しがちで水はねの状況がありスポンジ交換等決められていたが順守状況が曖昧。

#### 取組み内容

施設

①おむつ交換時の物品、個人防護具の着脱の タイミングについて見直し

②浸漬消毒について

③嘔吐物処理セットの見直し

④水回りの掲示物等について

### 取組み成果

- ①おむつ交換時の必要物品はカートを活用。 個人防護具の着脱は居宅者毎に改善。
- ②浸漬消毒は物品全体が浸漬するように落とし 蓋を準備。
- ③単回使用のセットを準備。どの職種でも瞬時 に持ち運べるように設置場所を整理。
- ④水回りの掲示物の見直しを行った。 水跳ねを都度ふき取り、微生物の温床となる 湿潤環境を防ぎ、乾燥を保つ。

# 施設:参加しての感想

気になっていた事、気付かなかった事、知っているけどしていない事、施設内だけでは改善につながっていない沢山 の気づきを頂きました。ラウンドでは感染の知識はもちろん、高齢者施設の"生活の場"という事も考慮して頂きなが ら、多職種から出る沢山の質問を一緒に考え、丁寧にお答えを頂けた事に感謝しかありません。排泄援助の手順では物 品を整えルール化をはかるという、自分で"行動する事"が少しずつ意識できる様になったと感じています。また方法を 変えた事で、仕事の"切り替え"になっているという意見も聞かれています。今後も"知っている"を"している"取り組み に変えられる様少しづつでも無理なく、継続的に取り組んでいこうと思いました。

#### ICN:講師としての感想

- ・排泄援助の手順(物品等)が見直されていた。実践しているスタッフから自身が感染を拡げない観点で ケアができ ていると発言があった。また、嘔吐物処理セットは単回使用に見直し、どの職種が携わっても統一した手順で対応でき るようになっていた。
- ・居住者が利用する水回り(歯磨き場所)は物品を整理し、より乾燥状況が保持できるように見直されていた。スタッ フが使用する水回り(コップ等の洗浄場所)も全体的に整理整頓が行き届いていた。
- ・短い期間であったが、改善活動を積極的に取組み感染防止に観点での取組みは素晴らしく、感銘を受けた。また、 ポットの洗浄方法、とろみ剤やコーヒーなどの「さじ」の取り扱い等多くの質問をいただき、平時の感染対策の意識の 高さに驚き、私も学ぶ点が多くあった。



<取り組み前>



<取り組み後>









